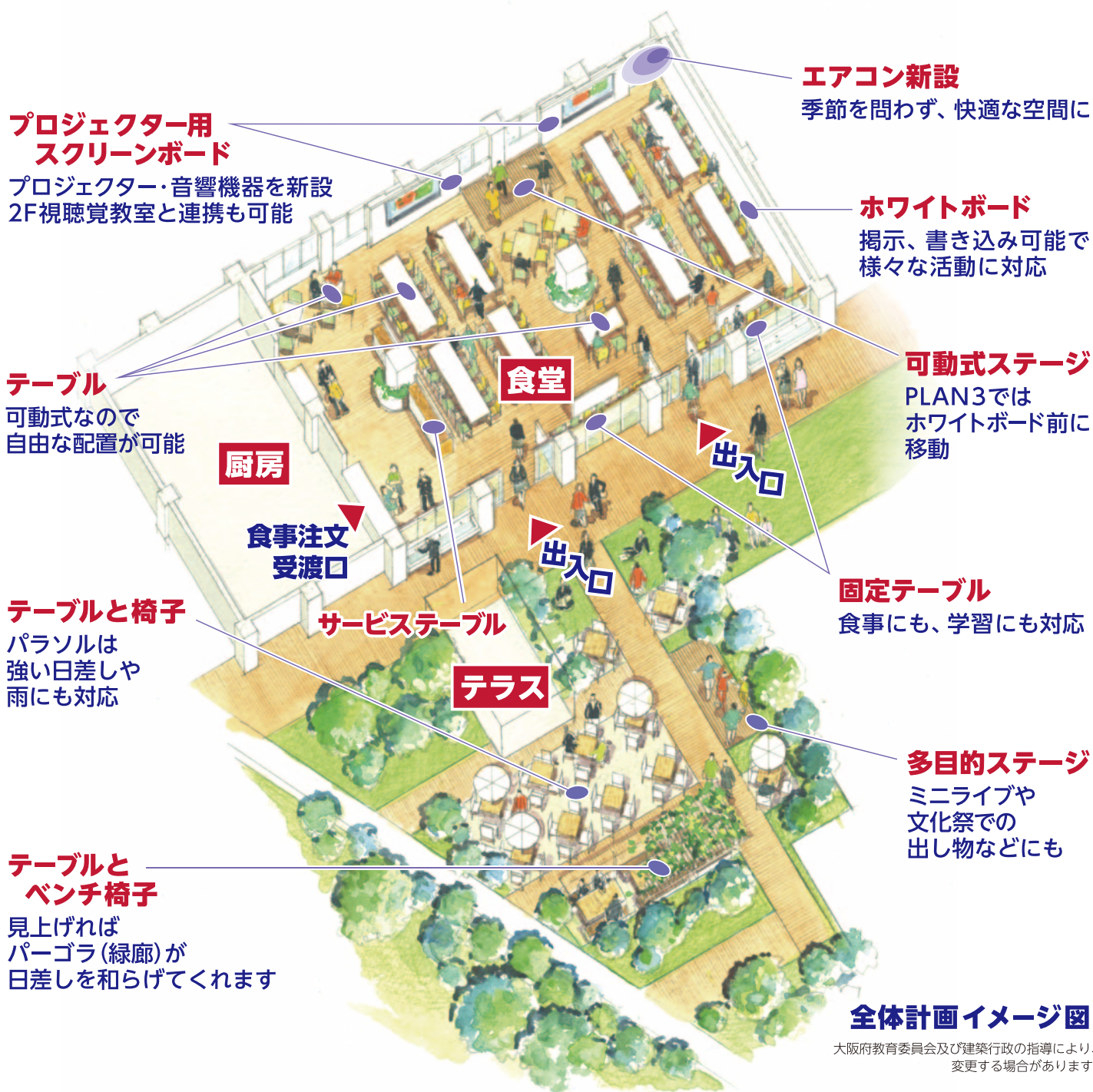


学習環境が飛躍的に向上 — アクティブラーニングの場！

創立100周年
記念事業

食堂リニューアルとテラスの新設



住吉高校創立100周年記念 中心的な事業です！

住吉高校100周年記念事業では、すでに教育ICT(情報通信技術)の環境整備の先行事業として電子黒板の全教室設置を完了しましたが、さらに学校や生徒の役に立つ施設としてICT機能を持つ学習環境設備を備えた新たな食堂と、これにつながるオープンな空間としてのテラスの新設を計画しています。

かねてより、食堂のリニューアルと新たな

利用が望まれていたこともあり、先生方から多くの要望事項とアイデアをいただいております。今まさに学校関係者の皆様に喜んでいただける施設となるよう、具体的なプランを立案しているところです。

新しくなる、飲食かつ討論可能な**多目的自習室**と、明るく談笑できるオープンな空間である**テラス**は、生徒たちの自主的な勉学を促進し、知識のみならず友情も深め、自主・自律の精神を引き継いでくれるでしょう。

寄贈するにあたり、施設の内容は創立100周年記念事業として相応しいものであることはもとより、教育上効果的であり教育活動の水準向上に寄与するもの、学校の教育環境改善に寄与するものを考慮し、かつ学校の管理運営上支障のないものとしています。

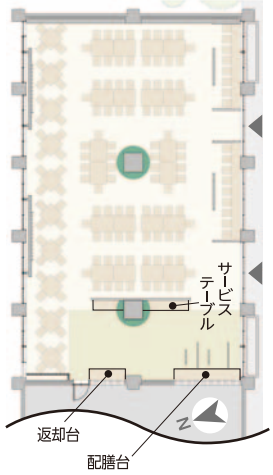
ユニバーサルデザイン(UD)7項目にも配慮し、先生方からご提示いただいたアイデアと照らし合わせ、まずは計画を練りました。それらをまとめたものを裏面に掲載しています。

■ 計画の概要

1. 食堂リニューアル

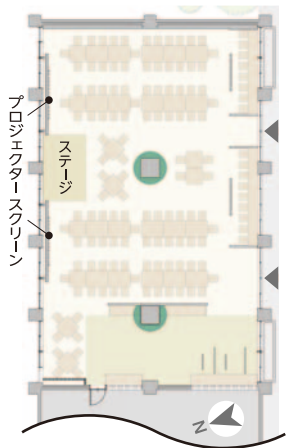
食堂を清潔で利用しやすいカフェのような空間をイメージしてリフォームします。エアコンを新設し、暑い夏でも快適な空間にします。テーブルや椅子は使いやすく丈夫なものを予定しています。それらを並べ替えば、食事だけではなく学習や交流の場など多くの目的に応じた利用ができます。例えば次のようなプランが可能です。

● PLAN 1 食堂として



食堂として使用したときの配置です。ピーク時に比べ生徒数は今や半分、椅子の数を現状より減らしゆったりとした配置としています。ただし、テラスの椅子とテーブルを活用すれば、現状とほぼ同じ席数も確保できます。オーダーから食器返却まで生徒の動線を確認し、効率的な食堂を目指しています。

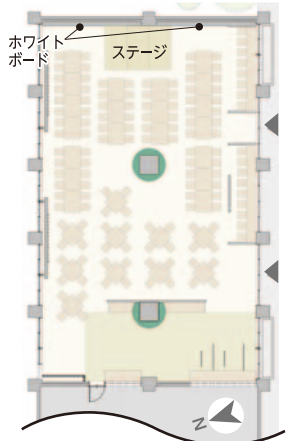
● PLAN 2 発表の場として



食堂にはプロジェクターも設置。入った正面(北側)のスクリーンを活用したプレゼンテーションなど、発表活動も可能です。

可動式のステージも使え、配置は自由。授業はもちろん、クラブや文化祭での出し物をするのにも役立つよう計画しています。

● PLAN 3 多目的な自習室として



食堂を入った右(東側)の壁は、書き込み可能なホワイトボード仕様です。研究成果のポスターを貼り付けて発表や意見を交換したり、ホワイトボードを活用して生徒が教え合ったり自習もできるなど、多目的な利用が可能です。

2. オープンなカフェテリアとしてのテラスの新設

現在、食堂の南側にある駐輪場をテラスとして整備し、食堂と連続したオープンなテラスを設置します。このテラスは、「テーブルとベンチ椅子」、「テーブルと椅子」の2通りの組み合わせで、食堂と合わせてゆったりとした食事空間を提供します。また、日差しのきつい日や雨の日も使用できるようにパーゴラ(藤棚のような緑廊)とパラソルを設置します。お昼や放課後に学年を超えた語らいの場になることを期待しています。また、一部にステージを設け、生徒のミニライブ空間としてや、クラブ・文化祭の出し物にも使用できるように考えています。

3. 視聴覚設備の充実

現在、食堂の直上2階にある視聴覚教室は、補助椅子を使用して、かろうじて一学年約280名が同時に着席することができる程度の広さしかありません。一学年全体を対象とした講演会などを行うときには、苦勞されているのが実情です。学校からの要望はこの問題を解決することです。今回、食堂において視聴覚機材として設置するICT機能を備えたプロジェクターと、視聴覚教室において新たに設置する撮影機器を連携することにより、視聴覚教室の様子を映像と音声で食堂に届けることが出来るように計画しました。これにより視聴覚教室に入れない生徒も食堂で投影された画像を見ながら講演会やイベントに参加することが出来るようになります。保護者も食堂から視聴覚室での説明会や体験授業が見られます。また同時にインターネット環境の整備を予定しており、教室や体育館など、他の場所からの中継も可能とする予定です。

■ 実行委員会からのメッセージ

住高は、まもなく創立100周年。この長い歴史の中、ほんの数年間とはいえ、母校で過ごされた同窓生の方々は多くの思い出をお持ちのことでしょう。義務教育を終え様々な進路に向かう、いわば人生の出発点ともいえる高校生活。どんな時代であれ青春のこの多感な時に、同じクラスで学び、同じクラブで活動し、同じ流行りの音楽に耳を傾け、同じ校舎で語り合ったことは、卒業後もずっと心の中に残っていると思います。

明るく楽しく生まれ変わる食堂とテラス、新設するICT機能を持つ映像・音響機器と相まって、生徒たちの新たな可能性も生み出してくれるものと期待しています。若い人たちが、目を輝かせて意見交換し学習に励む姿、春の新緑、夏の日陰、秋の爽やかな風、冬の日差しを感じながら、落ち着いた雰囲気の中で、また笑顔でにぎやかに語らう姿も目に浮かびます。

● 未来の同窓生のために

「同窓会」は過去の思い出だけでなく、新たな思い出も生み出してくれるもの。限られた空間と予算の中、この夢を実現させるために、皆様のご協力が必要です。未来の同窓会仲間となる現役生の、その人生の出発点に、思い出に残る住高の新たなスポットを寄贈出来ますように皆様の温かいご支援をぜひお願いいたします。

UD7項目と高校からのアイデアのまとめ

1 公平性	身体的、心理的に使う人を選ぶことなく、誰でも公平に操作できること ● 清潔で利用しやすい空間 ● 親しみやすい雰囲気
2 自由性・柔軟性	使い方を自由に選択でき、様々な使い方ができること ● 集会、講演会、プレゼンテーションなどの発表活動や授業ができる ● クラブや文化祭の発表の場として 必要なもの：モニターやプロジェクターなどの視聴覚機材 / インターネット環境 / 書き込み可能な壁(ホワイトボード) など
3 単純性	使い方が簡単で直観的にわかること ● テーブル・椅子はシンプルで使いやすく、丈夫である ● 清掃など管理や手入れが簡単である ● (電気系統・パソコンなど) 操作が単純で簡易である
4 明確さ	必要な情報が効果的に伝わり、すぐに理解できること ● 体育館や視聴覚教室の音声や映像を中継できる ● 学校説明会や体験授業を保護者が見ることができる ● 校内放送がきちんと入るようにする ● 生徒の昼ライブ*などを見ることができる
5 安全性	うっかりミスや危険につながらないデザインであること [エラーに対する寛容性] ● (電気系統など) 一部の不具合が全体の不具合に波及しないシステム ● 汚損や破損を簡単に安価に復元できる ● 換気を良くする
6 持続性	効率よく、気持ちよく、疲れないで使えるようにすること [負荷の軽減] ● エアコン設置 ● バリアフリー構造 ● 人の動線を妨げない設計
7 空間性	使用する人の体格や姿勢、移動能力に関係なく使えること。運びやすく、しまいやすく、かさばらないスペースを確保すること ● 視聴覚室と食堂の情報環境の一体化 ● 1学年7クラス全員(280人)が使用可能な広さのものにする

*軽音楽部やGREE部、フォークソング部などが企画の音楽活動。現在、視聴覚室で学期に一度程度開催。毎回入場できない生徒が出るイベントとなっています。

飛躍年にしよう!

100

住吉高校創立100周年

自主・自律を未来につなぐ